

あらゆる福島の内側へー

福島映像祭 2021

会場：ポレポレ東中野 / Space&Cafeポレポレ坐 主催：OurPlanet-TV 共催：ポレポレ東中野

2021年9月18日(土) ▶ 9月24日(金)

<http://fukushimavoice.net/fes/fes2021>



映画上映作品

会場：ポレポレ東中野

※映画の上映はいずれも16:20～となります。舞台挨拶は裏面タイムテーブルをご確認ください。



見えない島 "The invisible island"

Fukushima. In search of the spirit of the zone.
(2021年/87分/フランス/DCP)

※The film is in Japanese with English Subtitles.

※音声の大部分は日本語ですが、一部の英語のナレーションに字幕が付いていない箇所がございます

監督・撮影:ケイコ・クルディ/音楽:坂本龍一、オノ・セイゲン

リオデジャネイロ国際ウラン映画祭ドキュメンタリー最優秀賞受賞作

作品提供:PIKA PIKA FILMS

本映像祭2013で上映された『霧の向こう *Yonaoshi 3.11』のケイコクルディ監督による最新作。クルディ監督は2011年から福島に度々訪れ、沿岸地域に暮らしていた人々取材し続けている。本作では、福島第一原発の事故から10年の時を経て、かつてそこに暮らしていた若い夫婦や、ドライブインに集う原発作業員の方々の姿を映し出す。

上映日
9/19(日)・9/24(金)



県民投票

(2021年/92分/日本/Blu-ray)

監督・撮影・編集・作品提供:大場丈夫

2019年、茨城県で東海第二原発再稼働の是非を問う「県民投票」を実現させようと、小さな市民運動が立ち上がった。目指すのは、県内有権者から約5万筆の署名を集め、県議会で条例案を可決させること。反対運動ではなく、再稼働の是非について対話をしようという趣旨のこの運動は多くの人々の共感を集める。

上映日
9/21(火)



原発故郷3650日

(2021年/70分/日本/Blu-ray)

監督・撮影:島田陽磨/撮影・編集:鈴木響

作品提供:日本電波ニュース社

原発事故から10年が経ち、福島県では児童虐待などのDV被害の件数が震災前の10倍に増加。若者の自殺率も全国1位になった。本作は、原発事故後の心の病に寄り添う人々や、福島第一原発の誘致の歴史とウソ、核のゴミの受け入れを検討する北海道寿都町、汚染水放出の問題などを多角的に追い、福島と原発にまつわる今を描き出す。

上映日
9/18(土)

イベント

会場：Space&Cafe ポレポレ坐およびオンライン

9/19(日)
18:30 - 20:30
開場18:00

上映&トーク

「甲状腺がんになった
私たちの声を聞いてください」

原発事故以後、福島県が実施した甲状腺検査の結果、甲状腺がんと診断された患者の数は、把握・公表されているだけで200人を超えた。原発事故から10年。「過剰診断」「検査の縮小」が叫ばれる中、患者や家族の声を可視化しようと、OurPlanet-TVでは当事者団体とともに映像による記録を進めてきた。この一部を公開し、当事者に話を聞く。

ゲスト

甲状腺がんと診断された
20代の当事者

聞き手

白石草 (OurPlanet-TV)

[A] 会場チケット
定員30人[1,500円]



[B] 配信チケット
定員無制限[1,500円]



9/20(月・祝)
18:30 - 20:30
開場18:00

市民部門上映&トーク

わたしが伝える福島

市民部門に寄せられたビデオの中から、学生の視点で原発避難者を取材したショートドキュメンタリー、友禪の染め絵に思いを込めた染絵作家による動画、朗読とロードムービーの混交をめざしたユニークな試みによる映像作品の3作品を上映。それぞれの作品の制作者をゲストに作品に込めた想いを聞く。

ゲスト

上映作品の制作者のみなさん

聞き手

橋爪明日香(映像クリエイター)

毛利嘉孝(社会学者/東京藝術大学大学院教授)



我が友・原子力～放射能の世紀

"Notre ami l'atome —Un siècle de radioactivité"

(2020年/57分/フランス/Blu-ray)

上映日
9/23(木・祝)

監督: 渡辺謙一
配給: インプレオ

放射線が発見されたキュリー・ラジウム研究所から今日までを、被ばくの被害にあった犠牲者の目線で描くフランス発の歴史ドキュメンタリー。東日本大震災のトモダチ作戦で被ばくした米軍兵、ラジウム・ガールズ、20世紀に各地で行われた原爆水爆実験、広島、長崎、そして福島一。



BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW

Omnibus 《March / April 2021》

(2021年/74分/日本/Blu-ray)

上映日
9/20(月・祝)

監督: 五十嵐友子、池田泰教、石川多摩川、大木裕之
木村悟之、齋藤正和、鈴木光、峯利子、中沢あき、西村知巳、林勇気、本間無量
前田真二郎/作品提供: SOL CHORD

2011年の震災直後、「ある一日を撮影、前日に声を録音、あくる日に声を録音」という指示書を基に、多数の短編映画が制作された。10年の時を経て、そのプロジェクトに参加した監督が同じ指示書を基に新作を制作。再び福島を訪れた者、いま生きる町、コロナ禍の移動一。ある一日の記録が普遍性を帯びる不思議なオムニバスムービー。

----- 本年7月に逝去された岩崎雅典監督のご冥福をお祈りし、追悼上映を行います -----



福島生きものの記録

いのち
シリーズ 4～生命～

(2016年/88分/日本/Blu-ray)

上映日
9/22(水)

監督: 岩崎雅典/撮影: 明石太郎/録音: 吉田茂一/脚本協力: 坂口康
作品提供: 群像舎

シリーズの第四弾は「生命」というテーマのもと、野生の鹿の調査、ツバメの生態のその後や市街に出てくるイノシシの捕獲の様態など、生命の躍動を見せながら放射能の影響を追っていく。生きものたちの「死」を通して見えてくる震災後の動物と人間の関係の変化が悲しく、切ない。生命とは何かという生物学的、哲学的な命題まで提示する野心作。

市民部門上映作品

「ふつうの暮らしを取り戻したい

—原発賠償関西訴訟団— (2019~2020年/25分)



■制作: 今井萌々香/北口貴大
緒方美侑/里見繁

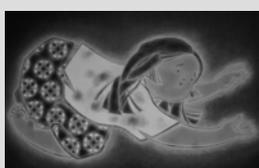
原発事故によって避難を余儀なくされ、故郷から遠く離れて暮らす人々。普通の暮らしを取り戻したい。関西への避難者たちは、国と東京電力に対する損害賠償請求訴訟を始めた。原告の人々の声に耳を傾ける学生作品。

「あとのひ」(2021年/20分) ■制作: 万里 Madeno



2011年春、青森から福島へと車で南下する過程で、災厄を前に思考停止してしまう自分を立ち止まらせないために課した「ルール」。2021年3月11日、再び10年前と同ルールを課し、海沿いに南を目指し、土地や時代に紐付いたテキストを朗読する。パフォーマンスとしての朗読、ロードムービーの混交をめざした試みによる映像作品。

「その日は いつか(希望のもしも)」(2021年/15分)



■制作: 志田弘子

北陸電力志賀原子力発電所から10km。福島から避難してきた友人、訪ねた三春の滝桜、子を抱く母たちの怒り、哀しみ…さまざまな思いを馳せ、音楽とナレーションとともに、友禅の染め絵に希望を綴る。染絵作家による初めての動画。

[A] 会場チケット
定員30人【1,500円】

[B] 配信チケット
定員無制限【1,500円】



イベントは [A]会場でのイベント参加と [B]オンライン参加 のふたつの参加方法があります。いずれも事前予約が必要です。

[A] 会場チケット: 定員30人【1,500円】※リピーター割引【1,100円】あり
当日現金でご精算。予約で満席になった場合は当日券の販売はいたしません。

[B] オンライン(配信)チケット: 定員無制限【1,500円】※リピーター割引なし
WEB決済でのチケットとなります。アーカイブ配信あり。

タイムテーブル

9/18 (土)

16:20 映画「原発故郷 3650日」(地下劇場)★

9/19 (日)

16:20 映画「見えない島」(地下劇場)

18:30 イベント「甲状腺がんになった
私たちの声を聞いてください」(1Fポレポレ坐&オンライン)

9/20 (月・祝)

16:20 映画「BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW
Omnibus《March / April 2021》」(地下劇場)★

18:30 イベント「わたしが伝える福島」(1Fポレポレ坐&オンライン)

9/21 (火)

16:20 映画「県民投票」(地下劇場)★

9/22 (水)

【特別追悼上映】
16:20 映画「福島 生きものの記録 シリーズ4～いのち
～生命～」(地下劇場)

9/23 (木・祝)

16:20 映画「我が友・原子力」(地下劇場)★

9/24 (金)

16:20 映画「見えない島」(地下劇場)

★=上映後、舞台挨拶(登壇orオンライン中継)あり!

料金

映
画

一般1,500円／シニア1,200円／大・専・障害者1,000円／高校生以下700円

■窓口・WEBともに上映日前日より販売開始

■購入方法など詳細はポレポレ東中野ウェブサイトをご覧ください

★リピーター割引(窓口購入のみ)

<福島映像祭2021>のチケット(映画でもイベントでも可)のご提示で1,100円

イベントは[A]会場でのイベント参加と[B]オンライン参加のふたつの参加方法があります。
いずれも事前予約が必要です。ご予約方法は中面をご覧ください。

イ
ベ
ン
ト

[A] 会場チケット:定員30人【1,500円】※リピーター割引【1,100円】あり

お問合せ:03-3227-1445 (ポレポレ坐)

[B] 配信チケット:定員無制限【1,500円】※リピーター割引使用不可

お問合せ:03-3227-1445 (ポレポレ坐)

会場

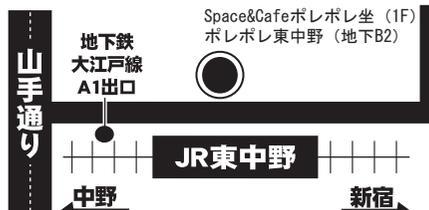
東京都中野区東中野 4-4-1ポレポレ坐ビル

映画上映:地下(映画館)

ポレポレ東中野 TEL 03-3371-0088
<https://pole2.co.jp/>

イベント:1F(カフェ)

Space&Cafe ポレポレ坐 TEL 03-3227-1445
<http://pole2za.com/>



JR東中野駅西口北側出口より徒歩1分
地下鉄大江戸線A1出口より徒歩1分